

すべての機器\*で再生可能、なのに驚異の高音質。

「本当に同じ音源なの?」その「激変」に誰もが絶句!!

\*CDプレーヤー等、コンパクトディスク・デジタル・オーディオのマークが付いた機器

CDの大革命到来!

秘密は素材の透明性!

マスター・クオリティに限りなく近づいた  
超高音質CDがここに誕生。  
クリアネス、量感、粒立ち、フォーカス、  
空間表現...すべてが  
異次元の領域!



# SHM-CD

Super High Material CD

SHM-CDとは?

ユニバーサル ミュージックが日本ビクターの新素材による音質向上技術を採用、通常のCDとは別種の  
液晶パネル用ポリカーボネート樹脂を使用することにより、さらに素材の透明性を向上させた高音質CDです。  
(ユニバーサル ミュージックと日本ビクターの共同開発商品です)

[shm-cd.jp](http://shm-cd.jp)

UNIVERSAL  
MUSIC

# 「CD高音質競争の反則技ですよ、これは」

## ちょっと待ってください。 これ本当に同じ音源ですか？

「高音質CDとかいっても、そんなに音は変わらないでしょ」と怪しむあなた、それは正しい。私もそう思った。「そう言わずに一度聴いてみてください」とユニバーサル ミュージックの担当者は言う。「CDそのものの素材が違うんですよ」と力説する。「ふつうのCDプレーヤーでもかかるんです」と耳打ちまでする。そうそう無下に断る理由もないので、ある日のこと、会社のマスターリング室におもむいたのだった。

最初に取りだしたのはデレク・アンド・ドミノスの大名盤『いとしのレイラ』、その1曲目。まず通常のCDを聴く。ああ、いいなあ。音じゃなくて演奏が。どうしても気持ちがちにそっちに行く。

そしていよいよSHM-CDの登場。じっと聴き入ること約1分。

「ちょっと待ってください。これ本当に同じ音源ですか」「もちろん同じです」

「なにか小細工をしていませんか」「ほとんどの人がそう言います」「まるっきり違うじゃないですか」

さあ、それからというものを乗り出すようにして、ストーンズやポリス、スティリー・ダンなどを気持ちよく浴びてしまった。

## 覆われていたベールが はがされるという印象

その変化の具合を大掴みに言うと、音そのものの粒立ちがなめらかで自然になる。自然というのは生っぽいということ。また演奏空間（ステージ）が広がって奥行き感が出る。通常のCDはもっと質感がザラッとしているし、左右スピーカー間に張った幕のなかで演奏しているかのように平面的だ。1枚が3000円だった、一昔前のCDと最新リマスターグ盤の違いに似ているかもしれない。

誤解されては困るが、ショボかったベースが、いき

音楽&オーディオ・ライター  
田中伊佐資



なり地響きをたてるかのようにガツーンとパワーアップすることはない。覆われていたベールがはがされるという印象だ。ああ、本当はこんなベースだったのか、と目から鱗がポロリなのである。

## 透明度？ それって音質とどういう関係？

ところでSHM-CDとはスーパー・ハイ・マテリアル・CDの略。通常CDの素材とは異なるポリカーボネート樹脂系を使っている。素材の透明度が格段に高まった。それを聞いた時、「透明度？それって音質とどういう関係？」と率直な疑問を持った。ところがCDデータは、どうやって読み取られるのかを思い起こすとナゾは解けてくる。

CDプレーヤーはレーザー光を発し、それがCDに当たり、戻ってきた反射光を読み取って、最終的にズジャンと音楽にする。肝心のデータが刻み込まれてい

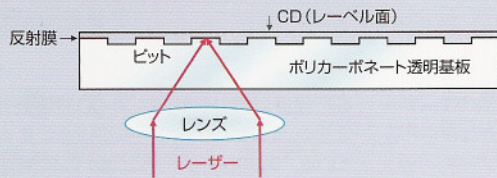
る記録層、実はピカピカしたCD裏の表面にあるのではなく、サンドイッチのハムのように真中に挟まれている。つまりレーザー光は、食パンに相当するポリカーボネート樹脂を必ず通り抜けている。しかも往復だ。だからこの樹脂の透明度が上がれば(=SHM-CD)、データはより正確に、より損失が少なくなり、結果的にリアルな音の再生ができるということになる。

## もう元に戻れない！

スタートしたばかりのこのSHM-CD、ぜひとも世の中に広まって欲しい。できたら世界標準になってもらいたい。本当にそう思う。あまりにも盛大にエールを送りすぎると、かなり宣伝めいてくるけれど、まあなんでもいい。だって、やっぱり一介の音楽好きとして、すべての音楽はいい音で聴きたい。それは当たり前だ。「ケチ臭いこと言うなー、これからぜんぶSHM-CDで出せー。どうしてくれるー、オレは元に戻れない」。実はこれが本音なんですけどね。

# SHM-CDとは

従来のCD素材とは別種の液晶パネル用途のポリカーボネート樹脂を使用することにより、さらに透明性を向上させた新たな高音質CDです。



## なぜ高音質か

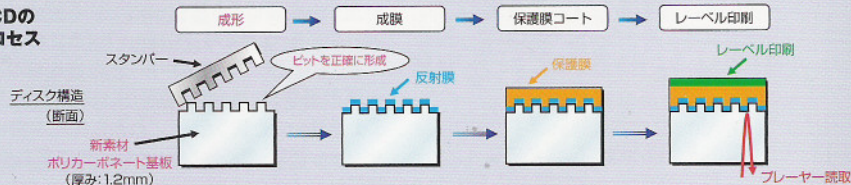
- 正確なビットの形成
- 優れた信号特性
- 基板の透明性

# SHM-CDの生産のこだわり

- ◆ ビクター独自の成形工法で高流動性、高転写性の新素材をCDへ応用
- ◆ 新たに改良を加えたビクターオリジナル高精度金型を採用
- ◆ 新素材専用の生産ラインを使用

以上のように、SHM-CDはこだわりの生産のため、量産効率より高音質を優先させた作りこみを行っています。

## SHM-CDの成形プロセス (概念図)



## SHM-CDの品質特性

- ◆ 液晶パネル素材を活用し、ポリカーボネート樹脂基板の透明性を向上
- ◆ 高流動性、高転写性の素材でCDのピットが正確にかつ精密に形成
- ◆ 信号特性（複屈折、ジッター）に優れている

複屈折とは、光が媒体中に入射するとき、2つ（通常光と異常光）に分かれて屈折する現象で、光のひずみを表します。CD再生の場合は、レーザー光（780nm）が1.2mmの厚みのCDの透明樹脂基板内を通過して、反射膜から反射した光を検出する仕組みであるために、複屈折率が少ないほどDISCの光学特性が優れる。

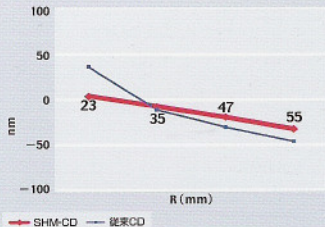
## SHM-CDのDISC特性

- ◆ コンパクトディスク・デジタルオーディオ規格に準拠
- ◆ すべてのCDプレーヤーで再生ができます。
- ◆ CDとしてバランスのよいDISC特性を実現
- ◆ こだわりの生産で高音質を優先

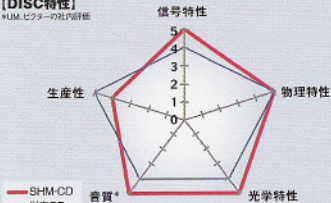
## SHM-CDの音質

- ◆ 透明感ある音質を実現
- ◆ 解像度が大幅に向上
- ◆ バランスのとれた音質
- ◆ 歪感が少なく、低域の量感不足も解消

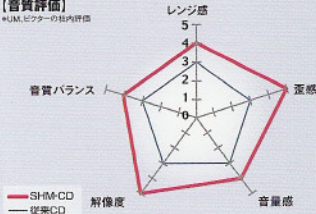
【複屈折】\*UM.ピクチャーの社内評価



【DISC特性】\*UM.ピクチャーの社内評価



【音質評価】\*UM.ピクチャーの社内評価



## ●ロック/ポップス編 <選・文: 田中伊佐資>

### 「シンクロニシティ」

from 「シンクロニシティ／ポリス」

まるでスタート・ダッシュするかのようキョーボード、ドラム、ヴォーカルの声で、こちらに畳みかけてくる。この部分、通常のCDではまぢまぢてしまったようなゴチャゴチャした感じがあり、大音量にするとうるささを感じなくもない。SHM-CDは不思議なほど音が整理されていて、不自然な刺激感が無い。すんなりと耳に入ってくる。



### 「アイ・ルック・アウェイ」

from 「いとしのレイラ／デレク・アンド・ドミノス」

出だしのギターががっちりしていてベースの沈み込みもいい。驚くほど歪みが少ない。かつてのアナログ盤の音は、マスクンしているかのようにこもっていたが、これは雲に差した。スタートして5秒後に飛び出すタンバリンが、びっぴりするほど後方から聴こえる。サウンド・ステージがやっぱり広い。



### 「ディーコン・ブルース」

from 「彩(エイジャ)／スティーリー・ダン」

決定的なのは1分20秒過ぎのサビの部分。「I'll learn to work the saxophone～」とドナルド・フェイゲンと3人の女性ヴォーカルがハーモニーを聴かせるのだが、重厚でありながら広がりが深い。通常CDは盛り方が平面的でドラマチックな盛り上がりや欠ける。またドラム、ベース、ギターなどの動きが視覚的で、そこに運動感が生まれている。



### 「日曜の朝」

from 「ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ」

まずはイントロのチェレスタに注目。金属を叩いた響きにたっぴりとした余韻があり、しかもピンポイントで小さく定まっている。通常のCDに比べて、にじみがない。またずっと続くベースも太い音圧がある。ルー・リードのヴォーカルは鮮度が高く、そして生々しい。言うに言われないはかなさが胸に迫ってくる。



### 「シング」

from 「ナウ・アンド・ゼン／カーペンターズ」

カーペンターズはカレンのヴォーカルがどう聴こえるかが、オーディオ的には重要なポイント。もはや演奏は二の次。彼女の顔が、空間にぼんやり浮かんで、目の前で取っているかのようにフォーカスがびつたりと合っている。そしてそのみずみずしさが最大の美点。誰しもこんな艶かしい声で聴きたいと思うはず。



## ●ジャズ編 <選・文: 田中伊佐資>

### 「ユー・ルック・グッド・トゥ・ミー」

from 「ブリーズ・リクエスト／オスカー・ピーターソン」

長年に亘って高音質録音として知られた名盤。左チャンネルの「チーン、チーン」という打楽器の余韻が長いこと長いこと。これだけでSHM-CDの情報量がいかに多いかわかる。ベースは太い、低いだけでなく、しっかりと太い芯がある。ピアノが柔らかく、ちゃんとしたボディ感がある。これは発見だった。



### 「ユード・ビ・ソー・ソー・ナイス・トゥ・カム・ホーム・トゥ」

from 「ヘレン・メリル・ウィズ・クリフォード・ブラウン」

サクスから入って、すぐさまトランペットが重なるイントロ。その音色に雑味がなく、きつりと前に飛び出してくる。続くヘレン・メリル「You'd be so nice～」のハスキー・ヴォイスは、ブルーではあるけれど、ビチビチとした25歳の若々しさが宿っている。通常CDは、少し沈んだように響いて、やや狭くに受けられているように聴こえる。



### 「ゼイ・セイ・イツ・ワンダフル」

from 「ジョン・コルトレーン・アンド・ジョニー・ハートマン」

ジョニー・ハートマンのセクシーなバリトン・ヴォイスがびっしり濡れる。デジタル臭さ・ギザギザ感が取れて、滑るようになめらかな発声。たまらない。一方の道、コルトレーンのテナーもヴォーカルを包み込むように温かい。名録音エンジニア、レディ・ヴァン・ゲルダーのスタジオに過度な響き感が認められ、その空気感が心地好い。



### 「イントロダクション／ワン・フォー・ヘレン」

from 「モントルー・ジャズ・フェスティバルのビル・エヴァンス +1」

通常のCDとSHM-CDを比べると、演奏以前にわき起こるお客さんの拍手が違う。SHM-CDは圧倒的に会場が広く感じる。司会者の声も聴こえエコーがよく聴き取れる。メンバー紹介の後に、トリオの3人がなだれ込むようにして絡み合うのだが、その立ち位置も明確、また音そのものがシャープだ。



### 「カーニバルの朝」

from 「ナイト・ライツ／ジェリー・マリガン」

ドラマの「スッコ、スッコ」と繰り返されるボサ・ノヴァのリズムがくっきりと明快。続く中低域をたっぴり含んだトランペットは、あいまいに散歌せずにキリリとまとまっている。通常のCDに比べ、右スピーカーから聴こえるベースはぐと骨太になり、バグ演奏に徹しながらも、よく取っている。知らなかった。バリトン・サクスは強壮剤を打ったかのように血気盛ん。



# この曲の ここを聴け!

## ●クラシック編 <選・文・柗・洋希>

### ベートーヴェン:交響曲第7番~第4楽章 (カルロス・クライバー指揮/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)

『のだめカンタービレ』の影響か、今やベートーヴェンの中で最も人気の高い交響曲となった第7番。数ある名盤の中でも頂点にあると言えるのがこの1976年録音のC.クライバー盤だ。第4楽章冒頭のトゥッティの輝かしい響き、主旋律を奏でるヴァイオリンの躍動感、ホルンの咆哮、全て

が通常盤に比べ、より生き生きと鳴り響く。クライバーのあの華麗な指揮ぶりが目に浮かぶようだ。そして、よりふくよかとなった音性は、やはりオーケストラがウィーン・フィルであるということをも再認識させてくれる。



### レスピーギ:《リュートのための古代舞曲とアリア》第3組曲~シチリアーノ (ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮/ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)

2008年に生誕100年を迎えるカラヤンの名録音。1969年の夏、ベルリンではなく、スイスの避暑地サンモリッツで録音されたもの。同じCDに収録されているスズキキ一の《ローマの噴水》《ローマの松》(ヘルミン、フィルハーモニーでの1977年録音)がやや硬めの音なのに比べ、もともと柔ら

かな音なのだが、SHM-CDで聴くと、ベルリン・フィルの弦のソノリティーの秀逸さがよりいっそう際立つ。録音場所の違いが明らかに感じられるのだ。



### ショパン:12の練習曲 作品10~《革命》 (マウリツィオ・ポリニー)

SHM-CDの特徴として、より残響が美しく感じられる点がある。ポリニー若き日の不滅の名盤、ショパンの《練習曲集》を聴き比べるとそれが顕著だ。この《革命》での冒頭の八拍子の強打和音の瑞々しさと、それに続く下降旋律の濁りのなさと、強音と弱音のコントラスト! 全て残響が絶妙

の効果を発揮している録音だ。LP発売以来25年、何度もこの名盤を聴いてきたが、正直、こんなに残響の多い録音とは思わなかった。



### シューベルト:ピアノ五重奏曲《ます》~第4楽章 (エミール・ギレリス、アマデウス弦楽四重奏団)

SHM-CDで聴く弦楽四重奏の音はまた格別だ。1975年録音の名盤《ます》の演奏の素晴らしさは今さら言うまでもないが、改めてその奥深さを知った。かつて「鋼鉄のピアニスト」と謳われたことが嘘のような、ギレリスの柔らかなピアノ・ソロで始まり、団員一人ひとりの息遣いがわかるようなアマデウス弦楽四重

奏団のふよやかな演奏が響む。もちろん、羨らかなだけではない。曲も後半になると、彼らの本当の凄さがわかる。アマデウスがこんなに凄みのある演奏をするとは不覚にも今まで気づけなかった。通常盤に比べ、演奏者の位置が1、2歩手前で演奏をしている印象さえする。この演奏の真の凄さがわかった。



### J.S.バッハ:マタイ受難曲~第1曲「来たれ、娘たちよ、われとともに嘆け」 (カール・リヒター指揮/ミュンヘン・バッハ管弦楽団、合唱団)

最後に声楽作品一つ。宗教音楽の最善傑作とされるマタイ受難曲だ。その決定盤として、録音以来50年近くたった今なお高い評価を確しているリヒター盤から冒頭の合唱。2群に分けられた合唱と、少年合唱によるコーラーが組み合う、感動的な合唱である。ただでさえ合唱の録音は難しいとされるが、オーケストラと合唱が立体的な空間を作り出すこの作

品はさらに素晴らしい。より純度を増したこのSHM-CDで、この名盤の素晴らしさを再認識した。ミュンヘンの名ホール、ヘルクスゲールの残響は独特だが、まるでこの作品を録音するために設計されたのではないかと、思えてしまうほど、実に深みのある録音なのだ。特に第2群の合唱が「だれぞ? (Wen?)」と強く叫ぶ部分の切実さは圧巻だ。



# SHM-CDシリーズ 2008年1月23日発売! 各1枚:¥2,800(税込) 2枚組:¥5,000(税込)

ロック/ポップス/ソウル/レゲエ編

50タイトル同時発売



## グレイテスト・ヒッツ ポリス

23年ぶりに再結成! 1977年から活動してきた  
彼らの30年の軌跡を収録した2枚組ベスト! (UICY-90736/7 \*\*)



## アウトランドス・ダムール ポリス

スピード感あふれる衝撃! 伝説的ロック・トリオ、  
ポリスのデビュー・アルバム。「ロクサーヌ」収録。(UICY-90738)



## 白いレガッタ ポリス

多様な音楽を取り入れ、独自の音楽世界を創造した  
セカンド・アルバム。「孤独のメッセージ」収録。(UICY-90739)



## ゼニヤッタ・モンダッタ ポリス

世界中で大ヒットした「高校教師」 「ドゥドゥ・デ・ダダ」を  
収録したサード・アルバム。(UICY-90740)



## ゴースト・イン・ザ・マシーン ポリス

プロデューサーにヒュー・パジャムを起用し、  
音質のクオリティにこだわったポリスの4作目。(UICY-90741)



## シンクロニシティー ポリス

完璧! 最強トリオ、ポリスがロック史上に残した傑作アルバム。  
全米No.1ヒット「見つめていたい」収録。(UICY-90742)



## ブルー・タートルの夢 スティング

ニューヨークの実力ミュージシャンを迎え制作された  
スティング初のソロ・アルバム。(UICY-90743)



## ナッシング・ライク・ザ・サン スティング

バンド・スタイルを基本に、各曲ごとに一流ミュージシャンを招き  
制作されたアルバム。(UICY-90744)



## サタニック・マジェスティーズ ザ・ローリング・ストーンズ

サイケデリック・ムーブメントに影響を受け初の  
セルフ・プロデュースで発表された傑作。(UICY-90745)



## ベガーズ・バンケット ザ・ローリング・ストーンズ

ディープ・サウス・ブルースをルーツとしたサウンドに回帰し  
評価された代表作。(UICY-90746)



## レット・イット・ブリード ザ・ローリング・ストーンズ

ブライアン・ジョーンズの死・ミック・テイラーの参加という  
過渡期の中、豪華ゲストと共に制作された傑作。(UICY-90747)



## フレッシュ・クリーム クリーム

エリック・クラプトン、ジャック・ブルース、ジーンジャー・ペイカーで  
結成されたクリームのデビュー作。(UICY-90748)



## カラフル・クリーム クリーム

ロック史上に残る名盤として儼然と輝く  
クリームのセカンド・アルバム。(UICY-90749)



## クリームの素晴らしき世界 クリーム

スタジオ録音盤とライブ盤をカップリングした2枚組でクリームの  
最大のヒット「ホワイト・ルーム」を収録。(UICY-90750/1 \*\*)



**スーパー・ジャイアンツ  
ブラインド・フェイス**

エリック・クラプトンを中心に結成されたスーパー・グループの最初にして最後となった名アルバム。(UICY-90752)

**いとしのレイラ  
デレク・アンド・ドミノス**

デレク・アンド・ドミノスの歴史的名盤。ロック史上不朽の名曲「いとしのレイラ」を収録。(UICY-90753)

**461 オーシャン・ブルヴァード  
エリック・クラプトン**

ソロ活動のレギュラー・グループを率いて全米1位に輝いたロック史上名盤中の名盤。(UICY-90754)

**スロー・ハンド  
エリック・クラプトン**

プロデューサーにグリーン・ジョーンズを迎え制作された大ヒット・ベスト・セラー・アルバム!! (UICY-90755)

**ジョン・メイオール&ザ・ブルースブレイカーズ  
ウィズ・エリック・クラプトン(スペシャル・エディション)**

ヤードバズ脱退後のエリック・クラプトンが参加したブリティッシュ・ブルース・ロックの大名盤。(UICY-90756)

**アー・ユー・エクスベリエント?  
ザ・ジミ・ヘンドリックス・エクスベリエンス**

ロックの歴史を塗り替えた衝撃のデビュー作。オリジナル・アルバムにシングル曲を6曲追加した完全盤。(UICY-90757)

**アクシス:ボールド・アズ・ラヴ  
ザ・ジミ・ヘンドリックス・エクスベリエンス**

サイケデリック・ムーヴメントにいち早く反応し、深遠で先進的なサウンドに挑戦した意欲作。(UICY-90758)

**エレクトリック・レディランド  
ザ・ジミ・ヘンドリックス・エクスベリエンス**

ジミの最高傑作との呼び声高い、ロック史上に燦然と輝く名盤中の名盤! ロックの未来が早くもここに! (UICY-90759)

**ライブ・アット・リーズ〜25周年エディション  
ザ・フー**

1970年に発表されたライブの名盤に未発表ヴァージョン8曲を追加した25周年スペシャル・エディション。(UICY-90760)

**フーズ・ネクスト +7  
ザ・フー**

ザ・フーの最高傑作「フーズ・ネクスト」に未発表ヴァージョン、未発表ライブ等全7曲を追加収録したアルバム! (UICY-90761)

**フリー +10  
フリー**

彼等独自のサウンドを確立した「フリー」の2ndアルバムにボーナス・トラック10曲を収録。(UICY-90762)

**ファイアー・アンド・ウォーター +6  
フリー**

大ヒット「オール・ライト・ナウ」を収録したフリー初期の最高傑作にボーナス・トラック6曲を収録。(UICY-90763)

**彩(エイジャ)  
ステイーリー・ダン**

彼らの6作目にして、類まれなる完成度を極めた歴史的名盤。グラミー賞ベスト・エンジニアリング部門受賞。(UICY-90764)

**ガウチョ  
ステイーリー・ダン**

並みいる実力派ミュージシャン、プロデューサーを招いて制作された、前期の集大成とも言える歴史的な第7作。(UICY-90765)

**フィルモア・イースト・ライブ  
オールマン・ブラザーズ・バンド**

オールマン・ブラザーズ・バンドの1971年の歴史的な名盤。あらゆるライブ・アルバムでも最高の1枚。(UICY-90766)

**ブラザーズ&シスターズ  
オールマン・ブラザーズ・バンド**

人気曲「ランプリング・マン」「ジェシカ」を収録した彼等最大のヒットとなったアルバム。(UICY-90767)

**百眼の巨人アーガス +3**  
**ウィッシュボーン・アッシュ**

ウィッシュボーン・アッシュの多くの作品にあって最も重要な位置を占めるサード・アルバム。(UICY-90768)

**電気の武者 +8** 30THアニヴァーサリー・エディション  
**T. レックス**

グラム・ロックの幕開けを宣言した名盤に、ボーナス・トラック8曲を加えた記念碑的作品。(UICY-90769)

**悲しきサルタン**  
**ダイアー・ストレイツ**

イギリスが生んだスーパースター・バンドのデビュー作。大ヒット曲「悲しきサルタン」収録。(UICY-90770)

**黄昏のレンガ路**  
**エルトン・ジョン**

全米、全英アルバム・チャートNo.1獲得のエルトン・ジョンの最高傑作! (UICY-90771)

**ジョン・バーレイコーン・マスト・ダイ +4**  
**トラフィック**

新たな出発を果たしたトラフィック・トラディショナル・フォークのエッセンスをも取り込んだ名作。(UICY-90772)

**リージ・アンド・リーフ +2**  
**フェアポート・コンヴェンション**

エレクトリック・トラッドの道を歩むきっかけとなった通算で4枚目となる代表作。(UICY-90773)

**虹を翔ける覇者**  
**レインボー**

ドラマにミュージック・パワエールを迎えた最強のラインナップによる、黄金時代を飾る2ndアルバム。(UICY-90774)

**バビロンの城門**  
**レインボー**

大作主義から短めの楽曲でアメリカに目を向けたレインボーの転機となった人気アルバム。(UICY-90775)

**フール・フォー・ユア・ラヴィング +5**  
**ホワイトスネイク**

代表曲「フール・フォー・ユア・ラヴィング」を収録し、シーンのトップに躍り出たサード・アルバム。(UICY-90776)

**カム・アンド・ゲット・イット +6**  
**ホワイトスネイク**

全米1位を獲得した第6弾アルバム。「ドント・ブレイク・マイ・ハート・アゲイン」収録。(UICY-90777)

**オリジナル・サウンドトラック +2**  
**10cc**

「アトム・ノット・イン・ラヴ」が収録され10ccの名を一躍全世界に広めた名盤。(UICY-90778)

**ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ**  
**ヴェルヴェット・アンダーグラウンド**

アンディ・ウォール・プロデュースの衝撃のデビュー・アルバム。「バナナのジャケット」はあまりにも有名。(UICY-90779)

**ソフト・マシーン**  
**ソフト・マシーン**

カンタベリー・ミュージックの源流であるソフト・マシーンがわずか4日間で創りあげた記念すべきデビュー・アルバム。(UICY-90780)

**キャメル・ファースト・アルバム +2**  
**キャメル**

ファンタジックなサウンドで独自の道を切り開いたキャメルのデビュー作。(UICY-90781)

**オクトパス**  
**ジェントル・ジャイアント**

複雑に絡み合うリズムと完成されたコーラス・ワークによって彩られたジェントル・ジャイアントの4枚目の作品。(UICY-90782)

**ナウ・アンド・ゼン**  
**カーペンターズ**

「イェスタデイ・ワンス・モア」「シング」などの大ヒット曲を収録したポピュラー音楽史上に残る大名盤。(UICY-90783)

**キー・オブ・ライブ  
スティーヴィー・ワンダー**

絶頂期の自らの全てを注ぎ込んだ、70年代のミュージック・シーンを代表する大名盤。(UICY-90784/5 \*\*)

**ホワッツ・ゴイン・オン +2  
マーヴィン・ゲイ**

「ホワッツ・ゴイン・オン」、「マーシー・マーシー・ミー」「イナナー・シティ・ブルース」他収録の71年に発表された永遠の名作! (UICY-90786)

**キャッチ・ア・ファイアー +2  
ボブ・マーリー & ザ・ウェイラーズ**

伝説はここから始まった…。アイランドからの衝撃のデビュー作にして最高傑作! (UICY-90787)



**ライブ +1**  
**ボブ・マーリー & ザ・ウェイラーズ**  
ボブの存在感が際立つ、ロンドンでの伝説のライブを収録。ライブ盤の金字塔! アイランド第4作。(UICY-90788)

**ジャズ編****10タイトル同時発売**

ルディ・ヴァン・ゲルダー・リマスター決定盤 プレスティッジ・レーベルの名盤を、エンジニアのルディ・ヴァン・ゲルダー自らがリマスターしたリイシュー・シリーズ。

**サクソフォン・コロッサス  
ソニー・ロリンズ**

まさに、「最高峰」。ロリンズ自身はもちろん、50年代ジャズ全体の一つの到達点。(UCCO-9161)

**クッキン  
マイルス・デイヴィス**

マイルスが終生愛した「マイ・ファニー・ヴァレンタイン」の最初の名演がここで聴け孤高の美が味わえる。(UCCO-9162)

**ソウルトレン  
ジョン・コルトレン**

この演奏を聴かずにコルトレンは語れない。美しいバード・プレイに、急速テンポの即興演奏に、トレンの原点がある。(UCCO-9163)

**静かなるケニー  
ケニー・ドーハム**

ハイ・トーンよりも、中音域に活路を見出したトランペッター。その繊細さが最も美しく結晶した一作。(UCCO-9164)

**ウォーキン  
マイルス・デイヴィス**

54年の2つのセッションを収録した、初期マイルスの代表作。歌心あふれるプレイに、この時期のマイルスの魅力が躍動する。(UCCO-9165)

**ウィ・スリー  
ロイ・ヘインズ**

ドラムスの連打で始まるが、主役はむしろピアノ。若き天才ニューボーンJr.がとびきり鮮やかに輝く。(UCCO-9166)

**セロニアス・モンク・アンド・  
ソニー・ロリンズ**

名声を確立する以前の二人が、個性と個性をぶつけ合った歴史的録音。(UCCO-9167)

**レッド・ガーランズ・ピアノ  
レッド・ガーランド**

ガーランド絶頂期の名盤。スタンダードを素材に、メロディアスでスウィングなガーランド節が詰め込まれた1枚。(UCCO-9168)

**メイティング・クール  
タッド・ダメロン・ウィズ・ジョン・コルトレン**

作・編曲にも稀有な才能を持つダメロンが、コルトレンを迎えて繰り広げたブローイング・セッション。(UCCO-9169)

**ボス・テナー  
ジーン・アモンズ**

ファンキーなテナーで当時プレスティッジ随一のセールスを誇った名手アモンズ、ジャジーな魅力が花咲かせる名盤。(UCCO-9170)

# SHM-CD シリーズ

好評  
発売中

初回限定生産

各1枚: ¥2,800 (税込)

\*\*2枚組: ¥5,000 (税込)

\*\*\*3枚組: ¥7,500 (税込)

## ◆ジャズ 30タイトル

UCCU-9405	ジョン・コルトレーン「バラード」	UCCU-9420	カウント・ベイシー「ストレート・アヘッド」
UCCU-9406	スタン・ゲッツ&ジョアン・シルベル「ゲッツ/ジルベルト」	UCCU-9421	チャーリー・パーカー「ナウズ・ザ・タイム」 <b>[CD]</b>
UCCU-9407	オスカー・ピーターソン・トリオ「プリーズ・リクエスト」	UCCU-9422	ウェス・モンゴメリー「ア・デー・イン・ザ・ライフ」
UCCU-9408	「ヘレン・メリル・ウィズ・クリフォード・ブラウン」	UCCU-9423	「クリフォード・ブラウン・ウィズ・ストリングス」
UCCU-9409	ジョアン・ジルベルト「三月の水」	UCCU-9424	「モンテール・ジャズ・フェスティバルのビル・エヴァンス」 <b>[CD]</b>
UCCU-9410	ジョン・コルトレーン「至上の愛」	UCCU-9425	「スタン・ゲッツ・プレイズ」 <b>[CD]</b>
UCCU-9411	アントニオ・カルロス・ジョビン「波」	UCCU-9426	ジェリー・マリガン「ナイト・ライツ」
UCCU-9412	アニタ・オデイ「アニタ・シングス・ザ・モスト」	UCCU-9427	「キヤノンホール・アダレイ・クインテット・イン・シカゴ」
UCCU-9413	「ジョン・コルトレーン・アンド・ジョニー・ハートマン」	UCCU-9428	ビル・エヴァンス「アローン」 <b>[CD]</b>
UCCU-9414	ルイ・アームストロング「この素晴らしき世界」	UCCU-9429	ブラウン＝ロー・チ・クインテット「スタディ・イン・ブラウン」
UCCU-9415	「サラ・ヴォーン・ウィズ・クリフォード・ブラウン」 <b>[CD]</b>	UCCU-9430	ザ・オスカー・ピーターソン・トリオ「ナイト・トレイン」
UCCU-9416	クインシー・ジョーンズ「ソウル・ボサ・ノヴァ」	UCCU-9431	チック・コリア&リターン・トゥ・フォーエヴァー「ライト・アズ・ア・フェザー」
UCCU-9417	エラ・フィッツジェラルド&ルイ・アームストロング「エラ・アンド・ルイ」	UCCU-9432	「スタン・ゲッツ&ビル・エヴァンス」 <b>[CD]</b>
UCCU-9418	アントニオ・カルロス・ジョビン「イパネマの娘」	UCCU-9433	ウェス・モンゴメリー「夢のカリフォルニア」 <b>[CD]</b>
UCCU-9419	ジミー・スミス「ザ・キャット」	UCCU-9434	スタン・ゲッツ&チャーリー・バード「ジャズ・サンバ」

## ◆クラシック 20タイトル

UCCG-9701	ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》&第7番 クライバー/ウィーン・フィル
UCCG-9702	シューベルト:交響曲第8番《未完成》&第3番 クライバー/ウィーン・フィル
UCCG-9703	ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》他 カラヤン/ベルリン・フィル
UCCG-9704	レスピーギ:ローマの松、ローマの噴水 他 カラヤン/ベルリン・フィル
UCCG-9705	モーツァルト:交響曲第40番&第41番 ベーム/ベルリン・フィル
UCCG-9706	ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》&シューベルト:交響曲第5番 ベーム/ウィーン・フィル
UCCG-9707	モーツァルト:レクイエム ベーム/ウィーン・フィル
UCCG-9708/9	チャイコフスキー:交響曲第4-6番 ムラヴィンスキー/レニングラード・フィル**
UCCG-9710	ドヴォルザーク:交響曲第8番&第9番《新世界より》 クーベリック/ベルリン・フィル
UCCG-9711	チャイコフスキー&ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 リヒテル&カラヤン、ロヴィツキ
UCCG-9712	ベートーヴェン:《悲愴》《月光》《熱情》 ケンプ
UCCG-9713	ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 他 ロストロポーヴィチ&カラヤン/ベルリン・フィル
UCCG-9714	ショパン:練習曲集(全曲) ホリーニ
UCCG-9715	ストラヴィンスキー:ペトルーシュカからの三章、プロコフィエフ:ピアノ・ソナタ第7番、他 ホリーニ
UCCG-9716	ショパン&リスト:ピアノ協奏曲第1番 アルゲリッチ&アバド/ロンドン交響楽団
UCCG-9717	モーツァルト:ピアノ協奏曲第20&21番 グルダ&アバド/ウィーン・フィル
UCCG-9718	シューベルト:ピアノ五重奏曲《ます》&弦楽四重奏曲《死と乙女》ギレリス&アマデウス弦楽四重奏団
UCCG-9719/20	パッパ:無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとバルティータ シェリング**
UCCG-9721	オルフ:カルミナ・ブラーナ ヨッフム/ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団
UCCA-9028/30	パッパ:マタイ受難曲(全曲) リッター/ミュンヘン・パッパ***